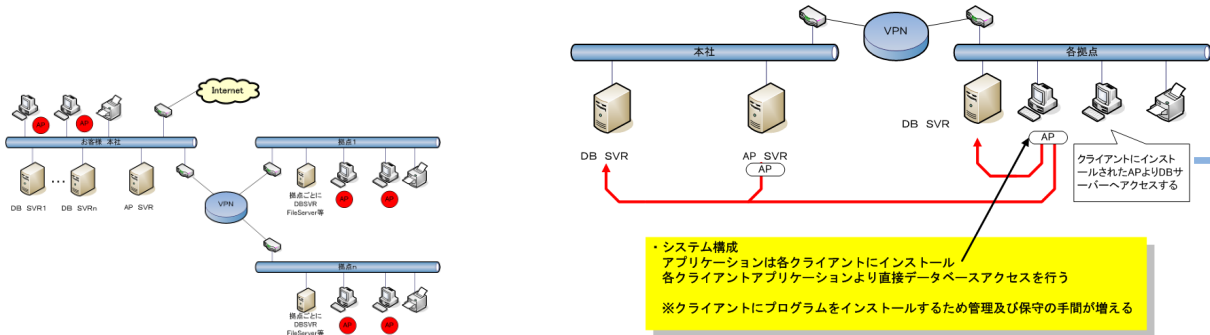


# ユーザーサイド株式会社 プライベートクラウド環境構築事例

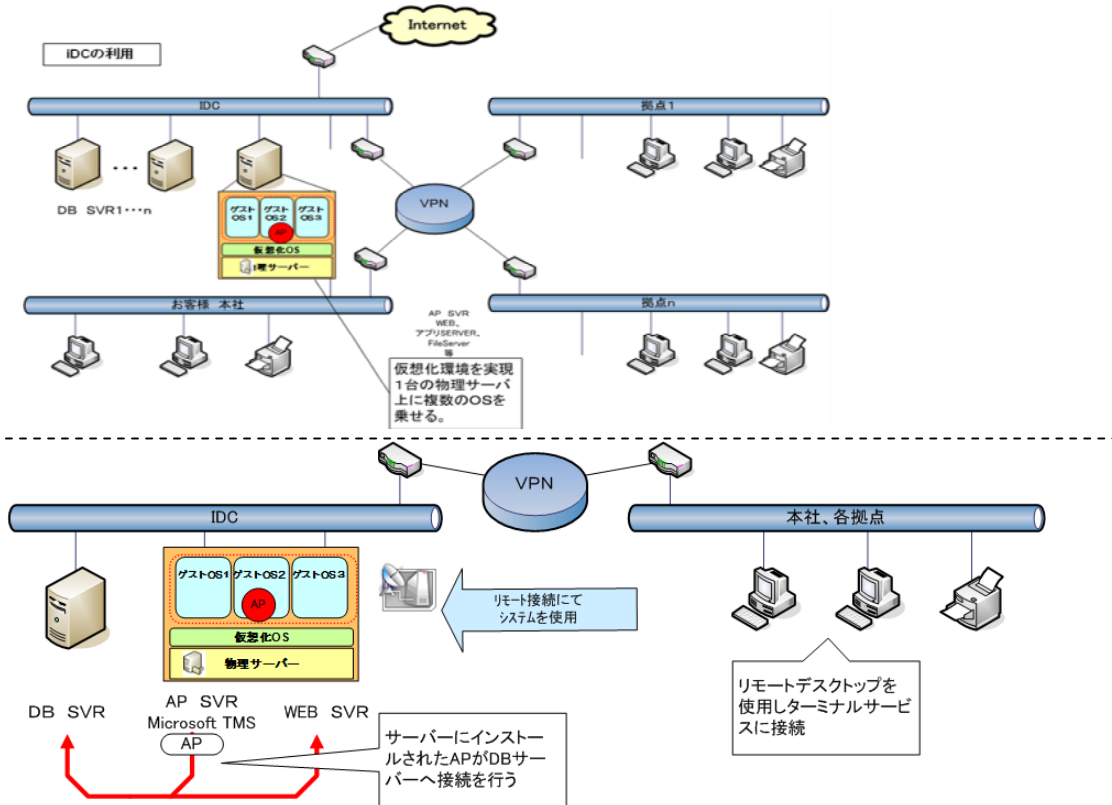
## ☆ 仮想化によるサーバ統合とプライベートクラウド環境への移行

多くのお客様の環境において、これまでの「クライアントーサーバ」型のシステムがまだ主流で稼働しているのが現状です。

※ 現行のシステム構成図(クライアントーサーバ型)



これらの従来型システムを、新しく「プライベートクラウド」型のシステムに切り替えていくお手伝いをさせていただきます。

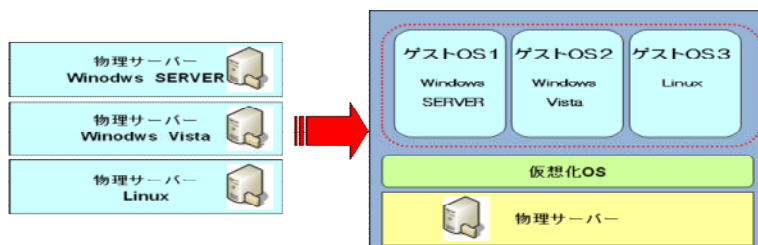


- ・システム構成
- ① IDCに設置したサーバに仮想環境を構築。その環境上に複数のゲストOSをインストールすることにより仮想サーバとして利用することができる。
  - ② この仮想サーバの一つをAPサーバとして利用。
  - ③ Microsoft ターミナルサービスを利用する。
  - ④ 各拠点のクライアントPCは、リモートデスクトップによりAPサーバに接続する。各拠点はターミナルサービスサーバに接続しアプリケーションを動作させる。
- ※クライアントにプログラム設置を行わないため管理及び保守が容易となる。
- ターミナルサービスを使用する場合別途ライセンスが必要になります  
ライセンス形態：  
TSデバイスCAL  
Windows セッションの実行を1つのデバイスに対して許可します  
(使用するユーザーは問われません)。  
TSユーザーCAL  
1人のユーザーに対して、任意のサーバでのWindowsセッションの実行を許可します(使用するデバイスは問われません)

キーワードは

- ① 既存アプリケーションの踏襲
- ② IDC の有効利用
- ③ サーバの仮想化によるハードウェアの効率利用(ブレードサーバの導入)
- ④ ターミナルサービスを利用したりリモートデスクトップ接続による処理遅延の低減

☆サーバ仮想化 概念図



☆VMware の製品構成 (2010 年 02 月現在)

■vSphere4.0 ライセンス体系

製品名	CPU ライセンス	vCenter	HA	DataRecovery	Vmotion		StorageVmotion	
					HotAdd FaultTolerance	DRS DPM		
Essentials	6(物理サーバ3)	○	×					
Essentials PLUS	6(物理サーバ3)	○	○	○				
STANDARD	1(1cpu 当り 6 コア)	×	○	×				
ADVANCED	1(1cpu 当り 12 コア)	×	○	○	○			
ENTERPRISE PLUS	1(1cpu 当り 12 コア)	×	○	○	○		○	

※Essentials には 1 年間の SnS(サポート&サブスクリプション)付属

※STANDARD 以降、初年度 SnS 契約必須

■vCenterServer ライセンス体系

	管理サーバ上限
Foundation	3
Standard	なし
HeartBeat	-

■各機能の概略説明

「HA」 ホスト障害時、仮想マシンの移動と再起動を自動で行う 「DataRecovery」 仮想マシンのバックアップとリカバリ

「Vmotion」 仮想マシンの移動

「HotAdd」 仮想マシンの CPU・メモリ増設

「FaultTolerance」 仮想マシンのセカンダリコピーを作成(冗長)

「StorageVmotion」 仮想マシンイメージのストレージ間の移動

「DRS」 仮想マシンを使用率の高いホストから低いホストへ移動 「DPM」 使用率によりホストの電源 OFF/ON

弊社では VMware を使ったサーバ仮想化案件を多数こなしております。

またブレードサーバ環境の構築、データセンタの提供、フレックス網などを使ったネットワーク構築といった、インフラ構築面での実績もございますのでお気軽にお問い合わせください。

ユーザーサイド株式会社 営業部/企画管理部 SaaS・クラウド担当

電話:011-738-7700 メール: [info@userside.co.jp](mailto:info@userside.co.jp) WEB: <http://www.userside.co.jp/>